

早期交通開放型コンクリート舗装 「1DAY PAVE」 開発の経緯

コンクリート舗装

長 所

- 耐久性が高い→LCC低減
- ヒートアイランド現象の緩和
- 安定供給が可能

多くの利点を有する

短 所

- 交通開放に時間を要する
- 補修が困難
- 乗り心地の悪化（騒音・振動）

早期交通開放は
最も大きな課題の一つ

コンクリート舗装の長所を活かすには？？？

養生期間の短縮が有効

早期交通開放型コンクリート舗装 「1DAY PAVE」 開発のコンセプト

早期交通開放

✓養生期間を材齢1日以内に短縮

材齢1日で養生終了可能な曲げ強度（3.5MPa）に到達

汎用的な材料の使用

✓標準的なコンクリート用材料の使用

✓市販混和剤の使用による低W/C化

施工の省力化

✓トラックアジテータによる運搬

✓簡易フィニッシャなどの人材による施工が可能

早期交通開放型コンクリート舗装

「1DAY PAVE」 NETIS (新技術情報提供システム) 登録

- ◆使用セメント : 早強ポルトランドセメント
- ◆水セメント比(W/C) : 35%程度
- ◆目標スランプ : スランプフロー 40cm
- ◆混和剤 : 高性能AE減水剤を使用



国土交通省が運営する**NETISに登録**
(KT-130044-VE)

この内容を閲覧することができます。関連する
ことができます。

[更新履歴](#)

2016.10.23現在

ページ印刷用表示 印刷用表示

技術名称	早期交通開放型コンクリート舗装(1DAY PAVE)		事後評価済み技術 (2016.10.13)	登録No.	KT-130044-VE
事前審査	事後評価		技術の位置付け(有用な新技術)		
	試行実証評価	活用効果評価	推奨技術	評価促進技術	活用促進技術
		直	旧実施要領における技術の位置付け		
			活用促進技術(旧)	設計比較対象技術	少実績優良技術
活用効果調査入力様式			適用期間等		
-VE 活用効果調査は不要です。 (フィールド提供型、テーマ設定型で活用する場合を除く。)		-	-VE評価: 平成28年10月13日～		

2013年登録

早期交通開放型 コンクリート舗装 1DAY PAVE 製造施工マニュアル [第1版] 概要

セメント協会webページ
上に公開



2016年3月発刊
(全67ページ)